

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 17 日

事務事業名		歴史資料館運営・教育普及事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020502000910
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		090601
政策体系	総合計画の施策名	0205 文化財の保存・活用		主要事業		所属課		生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり		市長マニフェスト					
	施策名	05 文化財の保存・活用		未来PJ事業		グループ		文化財グループ	
	手段名	02 ②文化財の活用		合併建設計画事業					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	04	01	00	文化財保護事業		
法令根拠						桜川市文化財保護条例			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	桜川市の歴史や文化を中心にテーマを設け運営している。 1. 常設展 桜川市内の通史的な展示を市内各所からの豊富な出土資料を中心に行い、重要伝統的建造物群保存地区に選定された真壁の町並みや、登録有形文化財となっている建物などを、古写真や模型などを使って紹介している。あわせてそれらのルーツである中世の真壁氏と真壁城についても出土品や古文書等で紹介している。また、施設が建設された地下から発見された真壁陣屋の発掘成果も展示するとともに、敷地全体に遺跡の跡を表示している。 2. 企画展 (年1~2回程度) 3. 歴史講座の開催 (年数回) 4. 他市町村等からの依頼による歴史講座・文化財案内の実施 (年数回)		<ul style="list-style-type: none"> <li>企画テーマに沿って資料を収集、研究し、展示する。展示解説パネルおよび解説シート等を作成し、公開する。</li> <li>歴史講座を開催する。また、小学校等に出前授業を行う。</li> <li>他市町村等からの依頼に応じて歴史講座等を行う。</li> <li>市内歴史に関する資料を調査・収集する。</li> <li>市民や他市町村からの問い合わせに対し、調査を行い回答する。</li> </ul>		

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)			
			・企画テーマに沿って資料を収集、研究し、展示する。展示解説パネルおよび解説シート等を作成し、公開する。	展示回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00
			・歴史講座の開催 講師依頼 講座準備 (職員担当の場合)	歴史講座・出前事業・文化財案内等開催数 資料調査回数	回	18.00	10.00	10.00	10.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)			
市民	桜川市民	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00			
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)			
桜川市の歴史文化の紹介をし、見学者数を増やす	展示見学者数	人	29,611.00	31,245.00	35,000.00	35,000.00	35,000.00			

(3) 投入量 (事業費) の推移			28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	1,629	1,711	3,237
	事業費計 (A)	千円	1,629	1,711	3,237	
人件費	正規職員従事人数	人	6.00人	5.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	2,706.00	3,241.00	3,000.00	
	人件費計 (B)	千円	7,915	9,480	8,775	
トータルコスト (A)+(B)		千円	9,544	11,191	12,012	

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	09 旅費	10		08 報償費	15	
	11 需用費	502		09 旅費	10	
	13 委託料	557		11 需用費	708	
	14 使用料及び賃借料	642		13 委託料	300	
				14 使用料及び賃借料	644	
				15 工事請負費	60	
				18 備品購入費	1,500	
				合 計	1,711	合 計

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>				

事務事業名	歴史資料館運営・教育普及事業	事務事業No.	20502000910	所属課	生涯学習課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

旧真壁歴史民俗資料館は昭和53年に開館した。その後、真壁中央公民館とともに平成21年度に解体され、平成23年9月1日に真壁伝承館の一部である歴史資料館として新規開館した。  
新資料館では市内の文化財を紹介するために新たに常設展示室と企画展示室を設計し、常設展は年数回の小規模な展示替えをし、企画展は年2回程度の開催を行う予定である。合わせて歴史講座なども開催する。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

企画展に対しては来館者より好評を得ている。入場者数も増えており、今後もいい展示をするよう求められている。  
歴史講座についても好評で、市内はもとより県外からの参加者も多く、扱ってほしいテーマの要望が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

事業費・担当人員の増加

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	文化財保存・活用に繋がる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	文化財は公共の財産であるため、市が当事業を行うのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	展示等を充実させ、周辺市町村との連携を図り、桜川市の魅力・独自性を再認識できるような展示や講座等を行うことで成果を向上させる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止した場合、他に代わる事業がなく、市民の要望に答えられない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似の事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	最低限の事業費で行っている。増加が必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者は市民全体であり、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	展示準備等にかけられる時間・人数・事業費が少ない。特に他市町村から資料を借用する場合の費用がなく、予算要望をしていきたい。 今後も適切な事業運営を行っていくとともに、地域や学校などとの連携を通して、市民からの要望に応えられるよう展示等を開催していきたい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 人員増		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>